

各 位

会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮
 (JASDAQ コード番号 : 6416)
 問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 業 務 管 理 本 部 長 太 田 譲 二
 電 話 03-3758-0181

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失の計上を行うこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成24年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	9,500	△ 1,400	△ 1,900	△ 2,400	△ 156.63
今 回 発 表 予 想 (B)	10,377	△ 1,928	△ 1,980	△ 2,848	△ 185.91
増 減 額 (B-A)	877	△ 528	△ 80	△ 448	
増 減 率 (%)	9.2	—	—	—	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成23年3月期)	11,709	△ 2,096	△ 2,175	△ 2,556	△ 166.81

平成24年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	6,800	△ 950	△ 1,300	△ 1,400	△ 91.37
今 回 発 表 予 想 (B)	6,250	△ 1,243	△ 1,356	△ 4,387	△ 286.37
増 減 額 (B-A)	△ 549	△ 293	△ 56	△ 2,987	
増 減 率 (%)	△ 8.1	—	—	—	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成23年3月期)	6,999	△ 1,330	△ 1,565	△ 1,950	△ 127.26

業績予想の修正理由

(1) 連結

当社グループ関連市場におきましては、依然として企業が設備投資に慎重な姿勢を見せており、国内及び海外の需要は停滞感が強い状況で推移いたしました。

当社グループの通期の連結売上高は、円高による為替の影響を受けましたが、前回予想の95億円を9.2%上回る103億77百万円となる見込みであります。

営業利益は、販売体制の見直しや経費圧縮等に注力してまいりましたが、販売価格競争に伴う売上総利益の減少が大きく影響し、前回予想の14億円の損失から19億28百万円の損失、経常利益は、前回予想の19億円の損失から19億80百万円の損失、当期純利益は、特別退職金等で7億87百万円を特別損失に計上することから前回予想の24億円の損失から28億48百万円の損失となる見込みであります。

(2) 個別

個別につきましては、通期連結業績予想の修正理由が主な要因となります。通期の個別売上高は、前回発表を8.1%下回る62億50百万円となる見込みであります。

営業利益は、生産体制の効率化を図るための見直しや、販売費及び一般管理費の経費削減に注力しましたが、売上高の減少による影響をカバー出来ず前回発表の9億50百万円の損失から12億43百万円の損失、経常利益は、前回発表の13億円の損失から13億56百万円の損失、当期純利益は、以下「(3)特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失30億16百万円を計上することから、前回発表の14億円の損失から、43億87百万円の損失と大幅に下回る見込みであります。

(3) 特別損失の計上について

当社グループを取り巻く環境は、円高の進行、価格競争、設備投資の抑止等の影響を受け、当面厳しい状況が続くものと予想されます。これらの状況を考慮し、今後の事業体制について慎重に検討を重ねた結果、連結及び個別において特別損失を計上することといたしました。

連結財務諸表につきましては、構造改革費用として「特別退職金」4億25百万円、「減損損失」3億60百万円等の合計7億87百万円を特別損失に計上することとしました。

個別財務諸表につきましては、当社の連結子会社でありますKIP Europe Holding S.A. への「関係会社株式」の全額9億94百万円及びKIP Europe S.A.S. への「売掛金」の全額18億99百万円について、欧州経済の悪化による市場の需要低迷で欧州の売上高は減少し、業績不振が続いていることから、それぞれ全額を「関係会社株式評価損」、「貸倒引当金繰入額」、当社構造改革費用として「特別退職金」1億10百万円等の合計30億16百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該「関係会社株式評価損」及び「貸倒引当金繰入」は、連結上相殺消去されるため連結業績への影響はありません。

(注) 本資料に記載されている業績予想の修正に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の予想数値と異なる場合があります。

以 上